



不要になったシーツ ▶▶▶ キーホルダーに

湯ザメ

別府ビービズリンク 「旅行の思い出に」

【別府】別府市の外郭団体「ビービズリンク」は、市内の宿泊施設で不要になったシーツを材料にしたぬいぐるみキーホルダー「湯ザメ」の販売を始めた。風呂にまつわる言葉からイメージしたネーミングで、サメが別府の温泉に漬かりぼーっとしている様子をユーモラスに表現した。担当者は「別府旅行の思い出として連れて帰ってほしい」と話している。

全長は約15センチ。県内3カ所
の障害者就労支援施設で、
働く利用者が一つ一つ手作
りしている。キャラクター
デザインは福岡市在住のイ
ラストレーターIoshow

(おしよ)さん(42)が担当した。
材料は宿泊施設の客室で
実際に使っていたシーツ。
破れたり汚れがあったりし
て、客室では使用できな
くなったものを再利用する。
県内の宿泊施設などにシ
ーツや枕カバーなどを提供
しているリネンサプライ会社
のリファイン大分(豊後大
野市)、はとやクリーニン

グ(別府市)の2社が無償
で提供している。
ビービズリンクによる
と、廃棄するシーツや枕カ
バーなどのリネンは両社合
わせて1カ月に約800
00枚。トイレトペーパーや
乗用車の内装に再利用され
ているが、廃棄量が多く新
たな使用方法を思案してい
たという。

「湯ザメ」の製作、販売
についてリファイン大分の
宮迫奈緒美常務(44)は「捨
てるしがなく、心苦しい思い
をしてきた。キーホルダー
という新しい形に生まれ変
わったシーツを見られてう
れしい」と喜ぶ。

価格は1980円で、J
R別府駅の観光案内所「ワ
ンダーコンパス」のほか、
市公式宿泊予約サイト「ゆ
のくにゆのたび別府温泉」
で販売している。利益の半
分は、キーホルダーを製作
した障害者就労支援施設利
用者の収入になるという。
問い合わせはビービズリ
nk(0977・77・45
13)。

(内田杏美)



宿泊施設で不要になった使用済みのシーツを
使ったぬいぐるみキーホルダー「湯ザメ」。
手作りのため一つずつ表情が違う。別府市



ぬいぐるみキーホルダー「湯ザメ」の販売を開始



記事をよく読んで、問①～⑤に答えましょう。問⑤は自分で考えてみましょう。

〔問①〕ぬいぐるみキーホルダーは県内3カ所の障害者就労支援施設でどのように作られていますか。

答え 【 (障害者就労支援) 施設で働く利用者が一つ一つ手作りしている 】

〔問②〕材料となるシーツは宿泊施設の客室で実際に使っていたシーツとありますが、どのようなものを再利用していますか。記事の中から書き出しましょう。

答え 【 破れたり汚れがあったりして、客室では使用できなくなったもの 】

〔問③〕廃棄するシーツや枕カバーなどのリネンの再利用方法が、キーホルダー以外に2つ紹介されています。書き出しましょう。

答え 【 (トイレットペーパー) と (乗用車の内装) 】

〔問④〕このキーホルダーを販売した利益の半分は誰の収入になると書いていますか。

答え 【 (キーホルダーを製作した) 障害者就労支援施設利用者 】

〔問⑤〕あなたの身の回りで、捨てずに再利用できそうなものはありますか。どのように再利用できるかも一緒に考えてみましょう。

※自由記述